



【予算特別委員会】

■森林環境譲与税 1億円の基金を有効に

譲与税の用途の質問に対し、森林環境教育指導者養成講座を青梅市との共同開催や基金の積立に充てるとの答弁がありました。私からは基金を活用し、歩道や公園などに木製ベンチを設置することや、公園等清掃美化協力員の方々の意見を聞くなどして市民と協働で木製複合遊具を設置することなどを提案しました。

■介護事業所経営安定支援事業について

この事業は、訪問介護事業者に対する新たな支援策で、利用者が入院した場合に小規模事業者を財政的に支えるしくみです。市内には45事業所中、小規模は39事業所があり、事業の下支えになると期待しています。

【環境まちづくり委員会】

家庭ごみ減量をさらに進めたい  
ベランダ堆肥づくりの  
堆肥の回収を求める



生ごみを資源化する市の事業は、4つあります。その中の「ベランダ堆肥づくり事業」には2026年2月現在で162件の方が参加しています。作られた堆肥は自家用として活かされています。しかし、庭のない集合住宅では、作ったベランダ堆肥を利用するには限界があるので、使いきれない堆肥を無駄にしないため、市が回収するしくみがあつたらと声を頂きました。

立川市では、家庭ごみの約6割が可燃ごみであり、その内4割が生ごみです。生ごみを焼却しないで資源として活かせたら、ごみの最終処分場の延命の課題にも効果が期待できます。「ベランダ堆肥づくり」は多くの方に参加していただけるよう堆肥の回収の仕組みを提案しました。



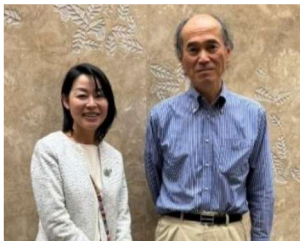
あべみさ活動報告



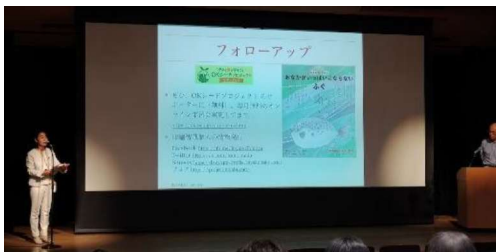
▲2/21、立川市生涯学習推進センター主催の講演会「私がオストメイトになった日～ストーマと生きる選択～」に参加。講師：中野恭子さん（皮膚・排泄ケア特定認定看護師）、平岡敏子さん（当事者で「ほうるすかい」代表）



▲2/21、NPO法人たすけあいワーカーズバステル主催、「介護研修会」に参加。講師：香丸真理子さん（認知症模擬演技者 SPSD 研究会）



▲3/14 多摩きた生活クラブ生協まち立川主催「食と農の未来を考えよう」ゲノム編集食品学習会、これからの食と農業の最新情報についてお聞きしました。講師：OK シードプロジェクト事務局長 印鑰智哉さん

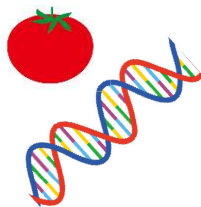


■「ベランダ堆肥とは」

住宅のベランダや庭などの限られたスペースで、生ごみや落ち葉などの有機物を微生物の力で発酵・分解させて作る土壌改良材ことです。

■市の生ごみ分別資源化事業 4つの取り組み

- ・剪定枝資源化事業
- ・生ごみ処理機等購入補助金事業
- ・生ごみ分別・資源化事業グループ制モデル事業
- ・ベランダ堆肥づくり



▲3/28 「データセンター問題どうなっているの？」学習会講師：伊瀬洋昭さん（都立産業技術研究センターフェロー研究員）。昭島市、日野市、小平市にデータセンター建設が予定されています。その危険性、原発再稼働へつながるシナリオ、巨額の不動産投資マネーの流失など、課題について学習しました。